

求職に応える
労働者供給事業

この事業は労働組合等だけに認められたものです。組合と供給先の企業が労働協約を締結し、組合員は就業する現場で雇用契約書を交わします。ぜひ登録を。

(関連記事10面)



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

印刷部数10万8700部
(購読料は組合費のなかに含まれています)
(年間購読料 千八百円) 定価 五十円

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人 吉川 豊

平和特集号 主権者は国民、アメリカにあらず 仕事とくらしの根幹守れ

家路急ぐ空にオスプレイ

横田基地周辺の日常

夏の夕暮れ。オレンジ色の空に見える小さい機影。そのドローンのような小さい機影が、旋回しながら近づいてきて、最後は大きな機体のオスプレイとなって頭の真上を通

過していきました。17時過ぎの昭島駅周辺に1時間強の間に7〜8機のオスプレイが次々と飛来。帰宅時に外国の軍用機が住宅地を何機も通り過ぎる光景は、異様です。静か

な東京の空を求めて、この6月に第三次となる横田新基地公害訴訟が提訴されました。コロナ、戦争、銃撃事件。不穏な情勢は収まらず、次々と続きます。これまで無理を

重ねた社会の矛盾が噴出しているかのようです。物質主義や拝金主義が進み、人間関係が希薄になるなかで、かつてはお互い様だったものが、今は対価を伴うサービスに変化しました。相手への想像力を欠くなかで、社会の分断は「話せばわかる」レベルを超えて、格差と共に広がりまし

た。歩み寄るために必要となる努力や時間を想像するだけで、心地よく耳障りの良いNSに逃げ込みたくなり、それがまた亀裂を深くします。ウクライナと台湾を口実に

う着するウクライナ情勢や、アメリカに煽られる台湾有事の可能性を口実に、軍備増強が必要だという「空気が醸成されています。建設産業は、自衛隊法において医療、運輸とならんで戦地にて従事を命ぜられる業種です。戦前の社史でアジア侵略に伴う工事を「飛躍の時代」と語るセネコンたちは、有事の際の工事依頼を好機ととらえるのではないか。地域で災害救助に誇りをもつて取り組む仲間たちの想いが、言葉巧みにすりかえられ、その技術が悪

戦争の工事は好機か 産業課題として憲法守る

一、の被爆国としての日本に、国際社会は核軍縮をリードする、大きな期待を寄せています。憲法と共に築いた77年間は、日本のソフトパワーであり、ブランドです。来年のG7の開催地は、広島です。

今こそ岸田首相に聞いてほしい。アメリカではなく、日本国民の声を。仕事とくらしの根幹となる平和について、主権者として声を上げましょう。

用されるのではない。組合が護憲を求めるのは、政治課題としてではありません。そんな時にはありません。その時になつてからでは遅いのです。

かつてなく核兵器の脅威が具体的にになるなかで、原水爆禁止世界大会が3年ぶりに開かれました。軍事費でアメリカの7%ほどのロシアは通常戦力でNATO諸国に劣り、核を手放せません。中国は2つの核超大国を追いかけています。唯一の被爆国としての日本に、国際社会は核軍縮をリードする、大きな期待を寄せています。憲法と共に築いた77年間は、日本のソフトパワーであり、ブランドです。来年のG7の開催地は、広島です。

■全体として、コロナ禍で鉄道の利用者が減ったことによる利益減少があるようだ。第7波が続く中、行動制限のないお盆を迎えた。里帰りの際は、環境のことも考えてできるだけ鉄道を利用したい。脱炭素の面でも、世界的にその活用が見直されている。「大量輸送」や「時間の正確性」といった特性をふまえた長期的な視点で、鉄道運用の議論を促したい。

平和特集号 主な記事

- まやかしの復興、終わらぬ被害
福島被災地取材。訴訟団と共に津島地区に>>3面
- 軍用機の爆音のない空を求めて
第3次新横田基地公害訴訟>>4面
- 戦時動員される産業で働くわたしたち
安保法制と建設労働者>>5面
- ブチャ、ハルキウ・戦地ウクライナ報告
ジャーナリスト志葉玲さん>>6・7面
- 芸人／記者・おしどりマコケン
半径5mの民主主義の実践>>8面
- 灼熱の広島、3年ぶりの開催
原水爆禁止世界大会の報告>>9面
- 拝啓、岸田首相
「憲法改正にはゼッタイ反対です」>>12面



■庭でトカゲを捕まえた。驚いたのはそのしつぽの色。見事なメタリックブルーだ。調べてみるとそれは、ヒガシニホントカゲの幼体であることがわかった。成体になるにつれて、その鮮やかな色は消えていくとのこと。つまりその風貌から、近年の温暖化とともに居ついた外来種かと思っただけ、その名の通り、昔から東日本を中心に生息しているらしい。子どものころから、そんなトカゲは見た記憶がないのだが。

■JR西日本の赤字ローカル線の問題で、「トカゲの尻尾切りの議論になっている」と広島県の県知事が声を上げている。JR西日本はローカル線の一部区間では100円稼ぐのに2万円以上かかることその経費を公表したが、知事は「廃線にむけた」世論誘導的な数字。新幹線では百億円単位で収益を落としているのに、その部分の議論がまったくない」と批判している。